

出穂前の早期水稻の管理について

平成30年6月6日
南那珂作物技術員会

早期水稻は現在、幼穂形成期を迎えており、6月20日頃にコシヒカリは、出穂の最盛期になると予想されます。

今後の管理のポイントとして①いもち病防除②出穂前の低温対策がありますので、以下の点に注意しながら適正な管理をおこなひましょう。

管理のポイント①

常発田では、いもち病の予防的な防除（粒剤防除）を実施しましょう

- 5月23日以降に、BLASTAMでのいもち病の好適条件の発生が続いています。また、6月4日の調査でも一部のほ場でも葉いもちの発生が確認されています。
- 早期水稻では出穂が梅雨時期と重なるために、出穂前にいもち病が発生すると、防除が非常に困難です。
- このため、常発ほ場や箱施薬を散布していないほ場では、必ず粒剤による予防的な防除を実施しましょう。



【いもち病の被害の様子】

●BLASTAMとは？

気象庁のアメダスのデータを用いて、いもち病（葉いもち）の感染しやすい条件を推定するシステムで、県の病害虫防除肥料検査センターから、情報が提供されています。

BLASTAMで「好適条件」が出現してから、約7日後に、葉いもちの初発がみられると推定されています。

*上の写真のような状態になると生育が遅れ、減収するだけでなく、遅れ穂にカメムシ類が集中して、品質も低下します

【主ないもち病の防除薬剤（粒剤）】

薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	備考
ゴウケツ粒剤	3～4kg/10a	出穂5日前まで ただし、収穫30日前まで	1回	散布時は、水をためて散布する
カブライト1号粒剤	1kg/10a	出穂10日前まで ただし、収穫45日前まで	1回	

*資料に記載している農薬は、作成時の農薬登録情報に基づいて作成しています。農薬登録は随時更新されるので、実際に農薬を使用する場合には、（独）農林水産消費安全技術センター等の情報により最新の登録内容を確認しましょう。

管理のポイント②

出穂前の低温（16℃以下）が予想される場合には、深水で管理しましょう

- 幼穂形成期、減数分裂期（出穂14日～7日前）と出穂、開花期は、稲が最も低温に弱い時期となります。
- これらの時期に稲が低温にあうと、右の写真のように籾が不稔となり、白穂が発生することがあります。
- このため、16℃以下の低温が予想される場合には、深水で管理しましょう。
- 気温が低い日は、気温よりも水温が高いことから、深水にすることで、幼穂を低温から保護することになります。
- 深水にしたら、日中は水を止めて日射による水温上昇を図りましょう。
- 品種では、「あきたこまち」は、コシヒカリよりも低温に弱いことから、特に注意しましょう。



【白穂による被害の発生】

●カメムシ類の防除について

昨年（平成29年）は、出穂前からカメムシ類の発生が多かったために、斑点米が多発し、品質低下の大きな原因となりました。

6月4日に技術員会で実施した調査結果では、今年も平年の約2倍のカメムシ類の発生を確認しており、被害の多発が予想されます。

このため、以下のポイントに注意しながらカメムシ類防除の徹底を図りましょう。

カメムシ類防除のポイント①

畦畔の除草（草刈り）は、必ず出穂の10日前までに終わらせましょう
 もしも、除草が間に合わない場合には、本田防除の直前に実施しましょう

- ・カメムシ類は出穂後に、周辺の畦畔の雑草（特にヒエの穂）から侵入してきます。
- ・このため、周辺の畦畔の除草（草刈り）は、非常に重要なカメムシ類の防除対策となります。
- ・ただし、稲の出穂直前や出穂直後に畦畔の除草をおこなうと、畦畔にいたカメムシ類を本田へ追い込む形となり、逆効果となります。
- ・このため、出穂の10日前までに、畦畔の除草を終わらせるようにしましょう。
- ・もしも、除草が間に合わない場合には、カメムシ類の防除の直前に除草をおこない、刈り取った草を外に持ち出すなどして、被害の拡大を防止しましょう。



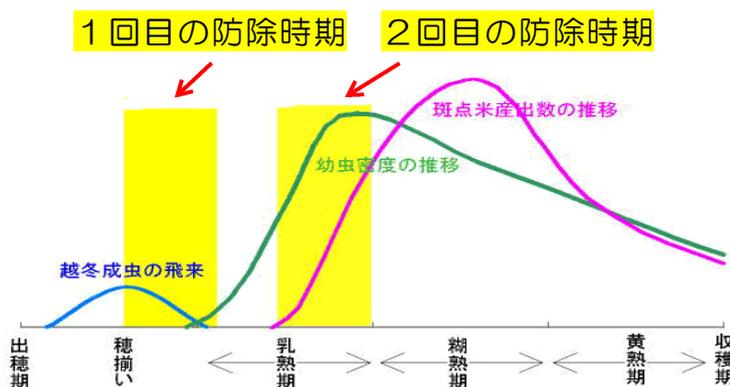
【畦畔雑草のカメムシ類への影響】

カメムシ類防除のポイント②

カメムシ類の防除は、穂揃期とその7～10日後の2回防除を徹底しましょう。
 特に、集団での一斉防除が効果的です。

- ・カメムシ類の防除は、「稲の出穂に合わせて飛来してきた成虫を防除」する1回目（穂揃期）の防除と「飛来してきた成虫から生まれた幼虫を防除」する2回目（穂揃期から1週間後）の両方を実施することが基本です。
- ・昨年も、2回防除を徹底した地区では、カメムシ類による被害が軽減されました。
- ・また、防除の際には、「株下まで届くよう薬剤を散布する」ことや「集団で一斉に防除する」ことが重要です。
 →無人ヘリ防除は、薬剤を株下まで散布し、集団での一斉防除が可能であることから効果的です。

カメムシ類の発生時期と防除適期



穂揃期の写真



穂揃期から7日後の写真